

社会福祉法人 日本点字図書館

# 感謝録

平成 **30** 年 6 月

数多くのご支援に感謝いたします。



指定特定相談支援事業および自立訓練(機能訓練)事業を開始しました。

# 感謝の言葉

社会福祉法人 日本点字図書館

理事長 田中 徹二



今年も皆様の温かいご支援に対して、この感謝録をお届けできますことは、私にとりまして望外の喜びでございます。感謝録は、多くの皆様から当館をご支援いただいていることの「証」とも申せます。心から感謝申し上げます。

平成29年度は、ご支援いただく身で大変申し訳ないことですが、単年度決算で支出が収入を超過してしまいました。事業収入としましては、衆議院選挙があり、その選挙公報を点字や音声で作成した事業収入がございました。ですが、当法人が51年ぶりに立ち上げた、指定特定相談支援事業と自立訓練（機能訓練）事業が、実施初年度ということもあり、思うように収入が伴わなかったことが大きな要因です。

しかし、この事業は中途失明のために多くの困難を抱える方々に対し、歩行訓練やパソコン訓練、スマートフォンや盲人用具の操作訓練を受けることで、少しでも社会や家庭での自立した生活を送れるようになっていただく、大変重要な事業です。そして、この支援事業を進めることは、結果として、私どもの本来事業である読書支援へつながりますので、意義深いことだと信じております。事業収入的には、行政からの支援費用も十分でなく、まだまだ厳しい状況が続くとは思いますが、ひとりでも多くの視覚障害者の自立のために、なんとか進めていきたいと思っております。現在、少しずつこの事業を利用してくださる方が増えてきておりますが、採算が取れるまでは、もう少し時間がかかりそうで、財政状況は、相変わらず厳しい状況にあります。

できるだけコストをかけないため、事務的な面での効率化をはかっていますが、サービス面では、当然のことながら人が対応していかなければなりません。年々多岐にわたり、高度化しているニーズに、職員は丁寧に対応しております。昨今、社会では働き方改革が盛んに提唱されておりますが、当法人におきましても、利用者サービスの充実を図るとともに、スタッフが心身ともに健康に働いてもらうための配慮をしていくことに、たいへん苦慮しております。

このような状況をご理解いただき、例年にましてのご協力、ご鞭撻を切にお願い申し上げます。

## 平成 29 年度事業のあらまし



館 長 長岡 英司

平成 29 年度は、二つの新たな事業を始めました。その一つは、自立支援事業です。社会参加の可能性の拡がりや情報環境の留まることのない変化を背景に、障害を補うための技能を身に着けたいという視覚障害者のニーズがますます顕在化しています。このような状況を踏まえ、当館では自立支援事業を開始しました。もう一つの新たな事業は「ふれる博物館」の運営です。視覚障害者には触覚を介して知識を増やす機会を、晴眼者には触覚という視点から視覚障害への理解を深める機会を提供する場の実現を目的に準備を進め、当館の分館に小規模な博物館を開設しました。

情報提供事業の利用サービス部門では、図書や雑誌などをもっと利用していただくための取り組みを続けました。例えば、人気や話題性に基づいて当館側で選定した複数のデイジー図書のデータをひとまとめにして提供するセレクトパックの企画や、当館の独自コンテンツであるテレビ・デイジーについての情報の積極的な発信などを行いました。当館がシステムを管理する電子図書館・サピエは、今や点字図書やデイジー図書の提供の手段として欠かせない存在ですが、喫緊の課題となっている大規模改修に必要な経費を厚生労働省の 30 年度予算に計上していただけたことは大変に幸いでした。

図書製作部門では、点字と各種デイジー形式での図書等の製作を、ほぼ予定通り行うことができました。近年は、公的試験の問題、学習資料、会議資料等の点字化の依頼が増加しており、点字製作では、製作人材をやりくりしてこれに対応しました。録音製作では、五つのデイジー種別（音声、テキスト、マルチメディア、シネマ、テレビ）すべての製作を手掛けました。7 月には、全国に多数の読者を持つ人気の月刊録音雑誌『*ってん* デイジーマガジン』が、創刊 100 号を迎えました。

当館が指定管理者を務める川崎市視覚障害者情報文化センターの事業を含め、計画のすべてが概ね目標通り実施できましたことは、皆様方の温かいご支援のおかげです。次ページ以降で各事業別の実績をご報告いたします。

# 平成 29 年度 事業の実績

## 図書情報サービス

---

利用登録者数：12,493 人

新規収蔵図書数：点字図書 681 タイトル、録音図書 813 タイトル

蔵書総数：点字図書 21,359 タイトル (80,255 冊)、録音図書 18,141 タイトル

貸出数：点字図書 7,678 タイトル (28,088 冊)、録音図書 115,780 タイトル

ダウンロード提供数：点字図書 998 タイトル、録音図書 68,581 タイトル

専門対面リーディングサービス利用実績：延べ 493 人、975 時間

中途視覚障害者対象の点字教室開催実績：延べ 1,161 人、244 回

視覚障害者対象の I T 教室開催実績：延べ 115 人、370 回

レファレンス：視覚障害者図書情報提供 88,649 件

視覚障害関係墨字資料（奥村文庫）：新規収蔵 1,555 点、利用 1,211 件

## 図書製作事業

---

製作数：点字図書 184 タイトル (730 冊)、音声デイジー 434 タイトル (3,868 時間)

テキストデイジー図書 557 タイトル、マルチメディアデイジー図書 10 タイトル  
(48 時間)

月刊録音雑誌「にってんデイジーマガジン」を 77,287 枚配布

ボランティア数：点訳ボランティア 70 名、朗読ボランティア 58 名

デイジー編集ボランティア 11 名、テキストデイジー編集ボランティア 54 名

録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア 79 名

クラウドソーシング型図書校正参加ボランティア 557 名

## 視覚障害者用具の販売あつ旋

---

年間取扱点数：887 種、85,641 点

新規取扱商品：「プレクストーク PTR3」、「クローバー 10 (拡大読書器)」、

「ライオンのおしゃべり温湿度計」、「ユニバーサル財布」他

## 厚生労働省委託・補助事業

---

〔視覚障害者用図書事業〕

点字図書：30 タイトル (7,350 冊) 製作、延べ 398 タイトル (1,478 冊) 貸出

録音図書：音声デイジー図書 15 タイトル、マルチメディアデイジー図書

6 タイトル製作、延べ 1,233 タイトル貸出

〔盲人用具の販売あつ旋〕

盲人用具 14 種、20,753 点

〔サピエ図書館の運営 (視覚障害者用図書情報ネットワーク運営事業)〕

会員数：個人会員 16,015 人、施設会員 368 施設

提供数：

- ・点字データ 198,141 タイトル
- ・音声デジータ 80,846 タイトル
- ・テキストデジータ 5,541 タイトル
- ・マルチメディアデジータ 185 タイトル
- ・目録 1,072,812 タイトル

利用数：

- ・点字データ 延べ750,839 タイトル
- ・音声デジータ 延べ2,985,250 タイトル
- ・テキストデジータ 延べ203,729 タイトル
- ・マルチメディアデジータ 延べ3,527 タイトル
- ・目録検索 3,111,851 件
- ・オンラインリクエスト 329,938 件

その他、全国の点字・公共図書館等に88,649件の情報を提供しました。



点字図書を郵送用のケースに入れる様子

---

## 自立支援事業

日本点字図書館自立支援室を新設し、8月1日より指定特定相談事業を、12月1日より自立訓練（機能訓練）事業を開始しました。

相談支援：基本相談 82件、計画相談 13件

自立訓練（機能訓練）：実人数 3人、延べ回数 34回

医療機関に出向いての相談会：16回

---

## 東京都委託事業

[点字図書の製作・貸出]

・点字図書：47タイトル（334冊）製作、延べ305タイトル（1,346冊）貸出

[声の図書の製作・貸出]

・声の図書：50タイトル（250枚）製作、延べ3,679タイトル（3,722枚）貸出

[視覚障害者用図書レファレンスサービス]

・都内の視覚障害者、施設・団体に対し36,932件の情報提供

[希望図書の製作]

・個人の希望する点字図書：57人・102件、声の図書：78人・160件

---

## 海外支援事業

■池田輝子基金によりマレーシアにおいて第14回池田輝子ICT奨学金事業を実施しました。18名参加（中級10名、上級8名）

■一般社団法人霞会館の助成によりカンボジア王国においてコンピュータ点字製作技術指導講習会を実施しました。11名参加

## 本部事業

「ふれる博物館」を試行開設。企画展「日本の城」に434名来場。

## チャリティ公演・イベント

[チャリティコンサート]

第15回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

「川島成道ヴァイオリン・リサイタル～愛の旋律～」

11月30日(木) 東京文化会館小ホール 来場者326名

[チャリティ映画会]

- ・秋の映画会：『湯を沸かすほどの熱い愛』9月21日(木) なかのZERO大ホール  
来場者385名
- ・春の映画会：『この世界の片隅に』3月15日(木) なかのZERO大ホール  
来場者400名

[施設公開イベント]

### ●日本点字図書館オープンオフィス

11月11日(土)・12日(日) 来場者1,000名

- ・第14回本間一夫文化賞贈呈式と講演(受賞者 藤野稔寛氏)
- ・にってん野路菊賞贈呈式
- ・勇退奉仕者感謝状贈呈式
- ・講演「時代の曲り角に立って」田中眞紀子氏(元衆議院議員)
- ・講演「映画で世界を広げよう 拡大出張版」平塚千穂子氏・田中正子氏(バリアフリー映画鑑賞推進団体シティ・ライツ)
- ・講演「まあるい地球の仲間たち in 日本点字図書館」イルカ氏(シンガーソングライター・IUCN国際自然保護連合親善大使)
- ・トークイベント「ラジオと私～永六輔さんの思い出と共に～」外山恵理氏(TBSテレビアナウンサー)

川崎市視覚障害者情報文化センター(設置：川崎市／指定管理事業者：日本点字図書館)

- ・利用登録者数：446名、275施設
- ・蔵書数：点字図書2,933タイトル(10,814冊)、録音図書5,619タイトル
- ・貸出数：点字図書289タイトル、録音図書9,584タイトル
- ・ダウンロード提供数：録音図書1,608タイトル
- ・図書製作：点字図書40タイトル、音声デージー134タイトル、テキストデージー図書7タイトル
- ・訓練事業：生活訓練6名、歩行訓練20名、パソコン訓練11名、点字訓練6名
- ・用具の展示と販売紹介：展示点数323点、販売紹介点数1,291点
- ・イベントの開催：コンサート、読書会、センターまつり、ヨガ体験会他

## 新設【日本点字図書館自立支援室】について

平成 29 年度は、51 年ぶりに新規事業がスタートしました。

この事業は、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスで、事業所名を「日本点字図書館自立支援室」とし、8 月 1 日より指定特定相談支援事業、12 月 1 日より自立訓練（機能訓練）事業がそれぞれ認可を受け、始まっています。

これまでも多くの利用者から、当館が提供できるサービスでは解決できない困りごとで相談を受けることが多数ありました。そのような相談に対しては、それぞれの担当者が、該当する施設や役所の連絡先をお調べし、次の施設へアクションを起こしていただくアドバイスをすることで終了していました。

指定特定相談支援は、個々のニーズやバックグラウンドを把握したうえで、他施設とも連携を取りながら、トータルで福祉サービスや社会資源などをコーディネートする業務です。また、自立訓練（機能訓練）は、相談を経て個別に必要な訓練を実施する業務です。

平成 18 年度より、読売光と愛の事業団様のご助成により行ってきた「見えにくさの相談会」の実績を重ねるなかでも、相談業務の必要性は、高まりが示されました。また、平成 26 年度より川崎市視覚障害者情報文化センターの指定管理が始まると、センターが長年行ってきた機能訓練（歩行訓練、日常生活訓練など）が当館にとって少しずつ身近なものになりました。その後、用具事業課のスタッフに歩行訓練士が加わり、もともとリハビリテーション畑の草分けに従事していた理事長の決断で、相談と訓練は当館の新しい事業となったわけです。

見えない見えにくい人たちにとって、専門知識をもった支援者による援助は不可欠です。「日本点字図書館自立支援室」を法人の建物のなかに設置したことによって、日点を知った多くの人たちが、すみやかに読書支援、福祉用具支援、リハビリテーションや他施設のサービスにもつながることができるようになりました。新規事業の役割は大きいと感じています。



文字を拡大しパソコン訓練をする様子

## 放送局の社会貢献活動によるお力添え

TBSテレビ（東京放送）の社会貢献活動のご協力で、アナウンサーによる朗読会やトークイベントを開催しました。

一つ目は、ホラー（恐怖を感じさせる怪奇的作品）の朗読会です。梅雨明けを待たずに真夏のような天気になった7月15日の昼下がり、プロの読み手の朗読を堪能しながら、恐怖のストーリーでしばし暑さを忘れました。

このイベントをプロデュースしたTBSテレビの浦口直樹さん進行のもと、7人の現役アナウンサーの皆さん（五十音順に、清水大輔さん、外山恵理さん、蓮見孝之さん、古谷有美さん、皆川玲奈さん、向井政生さん、山内あゆさん）が朗読を披露して下さいました。くじ引きで順番を決めながら朗読された8作品は、それぞれに独特の怖さを感じるものでした。約2時間、日頃ラジオやテレビで馴染んでいる声での朗読に、参加された皆さんはとても満足されたようでした。

11月11日と12日に開催した日本点字図書館オープンオフィスでは、外山恵理さんのトークイベント『ラジオと私～永六輔さんの思い出と共に～』が行われました。16年間続いた永さんとのラジオ番組にまつわる様々な思い出を中心に、ご自身がアナウンサーとして成長した道のりも披露されました。お話の後には、外山さん個人や番組についての質問が会場から相次ぎ、それらに丁寧に答えて下さいました。

1月20日に当館と川崎市視覚障害者情報文化センターで開催した「視覚障害者と支援者のための防災イベント」では、防災士の資格を持つアナウンサーの伊藤隆佑さんに『災害報道最前線から学ぶ、今すぐ役立つ防災知識』と題して講演していただきました。実際の災害現場で見たことや防災士として伝えたいことに、放送局の災害報道マニュアルの内容などを織り交ぜたお話は、とても分かりやすく有意義でした。

いずれのイベントも多くの皆様にご参加をいただき、とても好評でした。このほかにもTBSテレビからは、テレビドラマ「日曜劇場 99.9 刑事専門弁護士 SEASON II」のノベライズ本の原稿データを、図書が発売前にご提供いただきました。そのおかげで、速やかに録音図書を製作し、貸出提供することができました。こうした放送局のご協力に感謝するとともに、これからも大いに期待いたします。



TBSアナウンサーによる  
**夏のホラー朗読会**  
～浦口直樹アナウンサープロデュース！ホラー、怪談、ミステリーの朗読～

テレビやラジオで馴染みの、TBSアナウンサーによる朗読会です。  
みなさまお思いあわゆるのうえ、なるべく多く参加ください。  
※当日参加はなし、全席予約制となります。  
受け付けは先着順で、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

**2017年7月15日(土)**  
13時～15時  
日本点字図書館 3階 多目的室  
定員：80名 会費：無料

プロデューサー：  
浦口直樹アナウンサー  
出演（予定）：  
清水大輔アナウンサー  
外山恵理アナウンサー  
蓮見孝之アナウンサー  
古谷有美アナウンサー  
向井政生アナウンサー  
皆川玲奈アナウンサー  
山内あゆアナウンサー

主催・申込み：日本点字図書館 総務課  
電話：03-3209-0241  
※ 前：TBS CS制作部

## ご寄付へのお礼とご報告

平成 29 年度は、皆様から以下の通りご厚志を賜りました。

総件数 8,838 件 (前年度 9,144 件)

総額 105,088,214 円 (前年度 107,202,822 円)

その内訳をご報告いたします。

3,000 円未満	705 件	10 万円以上 50 万円未満	103 件
3,000 円以上 5,000 円未満	3,056 件	50 万円以上 100 万円未満	10 件
5,000 円以上 1 万円未満	2,364 件	100 万円以上	7 件
1 万円以上 10 万円未満	2,593 件	合 計	8,838 件

29 年度も、篤志ある皆様のご協力により、多額のご寄付を頂戴することができました。心より感謝申し上げます。

ご厚志をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございました。

このうち、2 件はお香典返しとして頂戴いたしました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族ならびに関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

### ◆◆愛のポストカード・愛の CD・DVD 運動へのご支援◆◆

当館では、書き損じはがきや未使用のはがき、ご不要になった市販の音楽 CD や DVD をご寄贈いただいております。はがきは、切手に交換して日常業務に不可欠な通信費の一部に、CD・DVD は、中古店に買い取っていただいた売り上げを運営資金に、それぞれ充当させていただいています。

平成 29 年度は、はがきの切手への引き換え金額は 39,537 円、CD・DVD の買い取り金額は 63,817 円になりました。

この運動は、小・中学生から年配の方まで、幅広い年齢層の方にご参加いただいております、大変ありがたく存じます。当館にとりましても貴重な浄財となっており、いただいたご支援は大切に活用させていただいております。今後も継続してまいりますので、皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ◆◆ ご寄付いただいた主な企業・団体 ◆◆

当館にご寄付いただきました主な企業・団体のお名前です。585 団体の皆様から、合計 12,537,593 円のご寄付を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名	(五十音順)
朝日生命保険相互会社	社会福祉法人中日新聞社会事業団東京支部
イオンクレジットサービス株式会社	東京 I ゾンタクラブ
医療法人今井眼科	ニシフミート株式会社
株式会社エルエッチエス	P F U 労働組合
株式会社偕成社	真宗大谷派東本願寺出版
朗読ボランティア「樫の実会」	久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部
医療法人春日上原眼科医院	株式会社日立ビルシステム
神奈川県眼科医会	医療法人社団雄飛会平岡眼科医院
川島成道音楽事務所オフィス・ポー・トゥリー株式会社	有限会社 F o r Y o u
観音寺	一般財団法人報国積善会
地福寺	三菱電機株式会社
ジブラルタ生命保険株式会社	真宗大谷派開明寺
宗教法人真福寺	柳川特許事務所
一般社団法人全国銀行協会	リネットジャパングループ株式会社
一般社団法人全国信用組合中央協会	龍泉寺
全国友の会中央部	有限会社菱和興産
宝印刷株式会社	福祉ボランティア点字グループ若葉

## ◆◆ 企業・団体のボランティアのご協力 ◆◆

C S R の一環として、次の企業の社員の皆様には、お昼休みを利用したボランティア活動で、用具事業課で使用する点字シールや、再生紙を利用した封筒作製にご協力いただきました。心より感謝申し上げます。

株式会社アートコーヒー、東京海上日動安心 110 番株式会社、三菱鉱石輸送株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社。

## ◆◆ 募金箱設置にご協力いただいた主な企業・団体 ◆◆

31 団体の皆様から、合計 515,882 円のご協力を頂戴いたしました。

団 体 名	(五十音順)
朝日信用金庫	ホテルサンルート高田馬場
井上眼科	医療法人湘山会眼科三宅病院
オリンピック眼科病院	指笛
ハイアットリージェンシー東京	横浜ロイヤルパークホテル
林歯科医院	ロイヤルパークホテルザ汐留

## ◆◆ チケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前 ◆◆

当館が主催したチャリティ映画会・チャリティコンサートのチケット購入にご協力いただいた主な企業・団体のお名前です。42団体の皆様から、合計 1,243,500 円のご協力を頂戴しました。紙面の都合上、ご協力いただきました企業・団体すべてを掲載できず、申し訳ございません。全団体は、当館ホームページにてご覧いただけます。

団 体 名		(五十音順)
NTT東京福祉文化事業団「ゆいの会」	東亜ディーケーケー株式会社	
オリンピア眼科病院	東京Iゾーンクラブ	
オルフェウスコンサルティング株式会社	東洋はり医学会	
株式会社偕成社	株式会社日清製粉グループ本社	
学書院	日生総合サービス株式会社	
株式会社サン・データセンター	株式会社日本財託	
世界救世教いづのめ教団新宿教会	公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団	
大同通商株式会社	株式会社日立システムズ	
株式会社タカラトミー	社会福祉法人ぶどうの木ロゴス点字図書館	
公益財団法人鉄道弘済会	公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	
天理教東京教区まこと会	有限会社菱和興産	

## ◆◆ 企業や団体からのご助成 ◆◆

企業・団体名	金額(円)	助成内容
社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団	100,000	第2回国際視覚障害者囲碁大会開催費
イオンリテール株式会社	81,000	「イオン 幸せの黄色いレシートキャンペーン」による助成
株式会社岩波書店	240,000	岩波新書等の録音版の製作・貸出
社会福祉法人NHK厚生文化事業団	100,000	第2回国際視覚障害者囲碁大会開催費
一般財団法人NHKサービスセンター	2,000,000	点字版「NHK ウイークリーガイド」の製作・頒布
一般社団法人霞会館	1,000,000	第23回アジア盲人図書館協力事業の実施(於 カンボジア王国)
公益信託久保記念点字図書援助基金	400,000	デージー図書体験のための録音図書の新型再生機購入費
埼玉県民共済生活協同組合	5,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)

企業・団体名	金額(円)	助成内容
公益財団法人JKA	2,625,000	月刊録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」の製作・配布(障害のある人が幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業)
全国労働者共済生活協同組合連合会	1,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出(視覚障害者の情報収集支援事業)
全国ラジオチャリティミュージックソン実行委員会	1,000,000	録音図書デージー編集作業
公益財団法人鉄道弘済会	1,800,000	録音雑誌「ブックウェーブ」を製作・配布
東京日本橋ライオンズクラブ	300,000	第2回国際視覚障害者囲碁大会開催費
公益信託東京日本橋ライオンズクラブ立川福祉基金	300,000	録音図書のダウンロードサービスのためのSDカードコピー機およびCFカードコピー機の購入費
株式会社トーハン	499,895	点字図書と録音図書を製作するための原本及び資料の提供
一般財団法人日本宝くじ協会	2,000,000	点字図書と録音図書の製作・貸出
公益財団法人パブリックリソース財団	71,400	点字・録音図書製作のための原本購入費
公益財団法人一ツ橋総合財団	5,000,000	録音図書「一ツ橋文庫」の製作・貸出 マルチメディアデージー教材製作システム(ChattyInfty Online)の整備 テキストデージー図書の製作・提供
株式会社文藝春秋	960,000	録音雑誌「文藝春秋」の製作・配布
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団	100,000	第2回国際視覚障害者囲碁大会開催費
三菱商事株式会社	500,000	自立訓練に必要な白杖やノートパソコン、拡大読書器、音声機器の購入
社会福祉法人読売光と愛の事業団	1,456,000	専門対面リーディングサービス事業の実施 ロービジョンサービス事業の実施 視覚障害者就労支援機器(点字ディスプレイ)の購入

## ◆◆ ワンブック・プレゼント運動へのご支援 ◆◆

多くの企業・団体と個人の皆様からワンブック・プレゼント運動にご支援いただきました。この運動は、一口10万円単位のご寄付を点字図書・録音図書の製作費用に充てさせていただくものです。完成した図書には、ご寄付くださった企業・団体・個人の方のお名前やメッセージなどを表示して、利用される読者の方に皆様のご支援の一端をお伝えいたします。

点字図書		録音図書	
協力者	口数	協力者	口数
株式会社イオン銀行	23	株式会社イオン銀行	23
匿名	5	スターバックス コーヒー ジャパン株式会社	22
大竹玉枝	2	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5
共同印刷株式会社	2	ハウス食品労働組合	3
特定非営利活動法人チャリティー・アソシエーション	2	はんだこどもクリニック	3
株式会社サンセイランディック	1	岩瀬愛子	2
株式会社日立ビルシステム マッチングギフトファンド	1	下野恵子	2
古川京一	1	匿名	2
みさき眼科クリニック	1	株式会社サンセイランディック	1
匿名	1	中嶋冬彦	1
		株式会社ニデック	1
		株式会社日立ビルシステム マッチングギフトファンド	1
		匿名3件(各1口)	3
点字図書 合計 10件	39口	CD図書 合計 15件	69口
点字図書、録音図書 総計 108口			

## ◆◆ 池田輝子基金事業のご報告 ◆◆

高田馬場の篤志家・池田輝子氏より寄贈されたマンション2棟の家賃収入をもとに、録音図書を製作する池田文庫事業とアジアの若い視覚障害者の自立支援のためのパソコン技術を指導する池田輝子 ICT 奨学金事業を実施しました。

1. 池田文庫事業 録音図書130タイトル製作しました。
2. 池田輝子 ICT 奨学金事業 研修生18名

昨年度までは、パソコン技術の指導を中心に行っていましたが、今年度より新たなプログラムとして、中級コースと上級コースの間に両コースの研修生を対象に「アジア太平洋リーダーシップ・エンパワーメント・ワークショップ」を追加しました。研修生が自国に戻り、リーダーとして視覚障害者の自立生活や社会参加を進めるのに役立つ知識や考え方を身に付けてもらうことを目的とします。プログラムは、まず各研修生が自国の現状を紹介するカントリーレポートから始まり、それぞれの社会的差別やその解消に関連する課題でのグループディスカッションを通し、教育、雇用、自立生活、移動の自由、交通問題、アクセシビリティ、点字の現状など、社会に向けてどのように権利を主張すればよいか、その戦略の立て方や実現にむけての計画の立て方などについて、各国の状況を勘案しながら、学んでもらいました。

# 決算のあらまし

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

単位 (円)

事業活動による収支 (収入)	
障害福祉サービス事業収入	457,251
点字図書館事業収入	597,805,758
盲人用具販売事業収入	360,807,560
マンション経営事業収入	40,458,455
本部事業収入	5,366,165
経常経費寄附金収入	118,938,338
受取利息配当金収入	3,562,370
その他の収入	9,483,237
事業活動収入計 (1)	1,136,879,134
事業活動による収支 (支出)	
人件費支出 (法人負担分)	349,683,242
委託・補助金事業人件費支出	217,767,338
事業費支出	485,338,704
事務費支出	89,283,342
その他の支出	468,305
事業活動支出計 (2)	1,142,540,931
事業活動資金収支差額 (3=1-2)	△ 5,661,797
施設整備等による収支 (収入)	
施設整備等補助金収入	656,000
施設整備等収入計 (4)	656,000
施設整備等による収支 (支出)	
設備資金借入金元金償還支出	7,886,900
固定資産取得支出	1,782,968
ファイナンス・リース債務の返済支出	756,336
施設整備等支出計 (5)	10,426,204
施設整備等資金収支差額 (6=4-5)	△ 9,770,204
その他の活動による収支 (収入)	
投資有価証券売却収入	195,298,296
積立資産取崩収入	408,800,000
その他の活動による収入	779,472
その他の活動収入計 (7)	604,877,768
その他の活動による収支 (支出)	
投資有価証券取得支出	195,509,000
積立資産支出	419,800,000
その他の活動による支出	969,465
その他の活動支出計 (8)	616,278,465
その他の活動資金収支差額 (9=7-8)	△ 11,400,697
当期資金収支差額合計 (10=3+6+9)	△ 26,832,698
前期末支払資金残高 (11)	
	74,738,619
当期末支払資金残高 (10+11)	47,905,921

# 日本点字図書館のあゆみ

1940（昭和15）年	全盲の青年 本間一夫が日本盲人図書館（現在の社会福祉法人日本点字図書館）を創立 蔵書700冊
1945（昭和20）年	戦災により本館焼失 貸出は疎開先で継続
1948（昭和23）年	焼け跡に仮建築で再出発 日本点字図書館に改称
1952（昭和27）年	社会福祉法人となる
1953（昭和28）年	本間一夫が朝日社会奉仕賞受賞
1954（昭和29）年	厚生省から点字図書製作事業の委託を受ける
1958（昭和33）年	声のライブラリー発足 テープ50巻、レコーダ1台
1960（昭和35）年	「中途失明者のための点字教室」を開始
1966（昭和41）年	視覚障害者用生活用具の開発と普及事業を開始
1976（昭和51）年	声の図書の「カセットテープ化」を開始
1989（平成元）年	厚生大臣特別表彰（身体障害者福祉功労団体）を受賞
1991（平成3）年	パソコン点訳者養成事業開始
1994（平成6）年	アジア盲人図書館協力事業開始
1996（平成8）年	専門対面リーディングサービス開始
1998（平成10）年	国費による新別館完成 皇后陛下ご臨席のもと新館披露の式典開催
1999（平成11）年	デジタル録音図書（CD図書）の製作・貸出開始
2003（平成15）年	本間一夫と日本点字図書館が、第10回井上靖文化賞を受賞 ロービジョンサポート事業開始 創立者本間一夫他界（享年87歳）
2004（平成16）年	録音図書ネットワーク配信サービス「びぶりおネット」開始
2005（平成17）年	ユニバーサルデザイン推進室（UDラボ）設置 録音図書ネットワーク製作システム（びぶりお工房）開始
2007（平成19）年	アジア太平洋障害者の10年の中間年記念 内閣総理大臣表彰受賞
2008（平成20）年	チャリティコンサートに皇后陛下のご臨席を賜る
2009（平成21）年	CD雑誌「にってんデイジーマガジン」創刊
2010（平成22）年	視覚障害者情報総合ネットワーク「サビエ」開始 「日点みんなの集い」に皇后陛下のご臨席を賜る
2011（平成23）年	カセットテープによる録音図書サービスを終了
2014（平成26）年	川崎市視覚障害者情報文化センターの管理運営開始
2015（平成27）年	埴保己一賞貢献賞受賞
2017（平成29）年	指定特定相談支援事業および自立訓練（機能訓練）事業を開始

## 役 員

理事長	田中 徹二
常務理事	長岡 英司 館長
同	伊藤 宣真 本部長
理事	芦田 真吾 東京都医師国民健康保険組合事務局長
同	大塚 信一 元(株)岩波書店代表取締役社長
同	岡村 喬生 声楽家・音楽監督
同	河 幹夫 (社福)日本心身障害児協会理事長
同	田中 敏雄 (社福)東京都福祉事業協会理事長
同	花島 弘 (公財)ダスキン愛の輪基金評議員
同	三田 誠広 作家・(公社)日本文藝家協会副理事長
監事	野田 聖子 弁護士
同	福母 淳治 (公財)日本障害者リハビリテーション協会常務理事

## 評 議 員

石橋 迪子	高橋 秀治	星川 安之	渡邊 岳
加藤真由美	立花 明彦	本間 一明	渡邊 廣之
樽松 武男	富田 清邦	増渕 路子	和波 孝禧
迫田 朋子	福島 智	山岡 三治	

後援会長 阿刀田 高 (作家)



社会福祉法人 日本点字図書館

〒169-8586 東京都新宿区高田馬場1-23-4

電話 (03) 3209-0241 (代表) FAX (03) 3204-5641

ホームページ <http://www.nittento.or.jp/> Eメール [nitten@nittento.or.jp](mailto:nitten@nittento.or.jp)

ゆうちょ銀行振替口座 一 般：00160-2-100288

取引銀行及び普通預金口座番号

みずほ銀行 高田馬場支店 普通 2855735

三井住友銀行 高田馬場支店 普通 92380

三菱UFJ銀行 高田馬場駅前支店 普通 167456

口座名：社会福祉法人 日本点字図書館 フリガナ：フク)ニッポンテンジトショカン

インターネットからもご寄付いただけます

で検索

(敬称は省略させていただきます)